

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成30年3月15日 (2018.3.15)

【公開番号】特開2017-66164(P2017-66164A)

【公開日】平成29年4月6日 (2017.4.6)

【年通号数】公開・登録公報2017-014

【出願番号】特願2017-4062(P2017-4062)

【国際特許分類】

C 0 7 D 233/80 (2006.01)

C 0 7 D 235/02 (2006.01)

C 0 7 D 471/04 (2006.01)

C 0 7 D 405/06 (2006.01)

C 0 7 D 409/06 (2006.01)

C 0 7 D 401/06 (2006.01)

C 0 7 D 403/06 (2006.01)

C 0 7 D 403/04 (2006.01)

A 6 1 K 31/4166 (2006.01)

A 6 1 K 31/4184 (2006.01)

A 6 1 K 31/4745 (2006.01)

A 6 1 K 31/4178 (2006.01)

A 6 1 K 31/4439 (2006.01)

A 6 1 K 31/675 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 27/14 (2006.01)

A 6 1 P 17/00 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

C 0 7 F 9/6506 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 233/80 C S P

C 0 7 D 235/02 E

C 0 7 D 471/04 1 0 5 E

C 0 7 D 405/06

C 0 7 D 409/06

C 0 7 D 401/06

C 0 7 D 403/06

C 0 7 D 403/04

A 6 1 K 31/4166

A 6 1 K 31/4184

A 6 1 K 31/4745

A 6 1 K 31/4178

A 6 1 K 31/4439

A 6 1 K 31/675

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 27/14

A 6 1 P 17/00

A 6 1 P 29/00

C 0 7 F 9/6506

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年1月23日(2018.1.23)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0067

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0067】

「アルキル」という用語は、本明細書で使用されるとき、別途指定されない限り、直線もしくは分岐部分またはそれらの組み合わせを有し、かつ1から8個の炭素原子を含有する飽和の一価または二価炭化水素部分を指す。このアルキルの1個のメチレン($-CH_2-$)基は、酸素、硫黄、スルホキシド、窒素、カルボニル、カルボキシル、スルホニル、サルフェート、スルホネート、アミド、スルホンアミド、二価 C_{3-8} シクロアルキル、二価複素環、または二価アリール基によって置換され得る。アルキル基は、独立して、ハロゲン原子、ヒドロキシル基、 C_{3-8} シクロアルキル基、アミノ基、複素環式基、任意に置換されたアリール基、カルボン酸基、ホスホン酸基、ホスホネート基、スルホン酸基、リン酸基、ニトロ基、アミド基、エステル基、エーテル基、ケトン基、スルホンアミド基によって置換され得る。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0068

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0068】

「シクロアルキル」という用語は、本明細書で使用されるとき、飽和環状炭化水素に由来する3から8個の炭素原子の一価または二価基を指す。シクロアルキル基は、単環式または多環式であり得る。このシクロアルキルの1個のメチレン($-CH_2-$)基は、酸素、硫黄、スルホキシド、窒素、カルボニル、カルボキシル、スルホニル、サルフェート、スルホネート、アミド、スルホンアミド、二価 C_{3-8} シクロアルキル、二価複素環、または二価アリール基によって置換され得る。シクロアルキルは、独立して、ハロゲン原子、スルホニル(C_{1-8} アルキル)基、スルホキシド(C_{1-8} アルキル)基、スルホンアミド基、ニトロ基、シアノ基、 $-OC_{1-6}$ アルキル基、 $-SH$ 、 $-SC_{1-6}$ アルキル基、 $-C_{1-6}$ アルキル基、 $-C_{2-6}$ アルケニル基、 $-C_{2-6}$ アルキニル基、アミド基、エステル基、エーテル基、ケトン基、アルキルアミノ基、アミノ基、アリール基、 C_{3-8} シクロアルキル基、またはヒドロキシル基によって置換され得る。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0074

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0074】

「アリール」という用語は、本明細書で使用されるとき、1個の水素を除去することによって6から10個の炭素原子を含有する環から成る芳香族炭化水素に由来する有機部分を指す。アリールは、単環式または多環式であり得る。1個以上の水素原子は、独立して、ハロゲン原子、スルホニル(C_{1-6} アルキル)基、スルホキシド(C_{1-6} アルキル)基、スルホンアミド基、カルボン酸基、 C_{1-6} アルキルカルボキシレート(エステル)基、アミド基、ニトロ基、シアノ基、 $-OC_{1-6}$ アルキル基、 $-SH$ 、 $-SC_{1-6}$ アルキル基、 $-C_{1-6}$ アルキル基、 $-C_{2-6}$ アルケニル基、 $-C_{2-6}$ アルキニル基、エーテル基、ケトン基、アルデヒド基、スルホンアミド基、アルキルアミノ基、エステル基、アミノ基、アリー

ル基、 C_{3-8} シクロアルキル基、またはヒドロキシル基によって置換され得る。